

再エネ勉強会を開催しました

2月27日(木)に再エネ勉強会「木質バイオマス地域熱供給計画の実施に向けて」を開催しました。

本勉強会は、普及啓発活動の一環として開催し、本町が実践している木質バイオマスの取組のほか、令和6年度から取り組んでいる「津別町木質バイオマス地域熱供給」についての進捗状況と、木質バイオマスの地域熱供給を先進的に取り組んでいる山形県最上町より事例紹介を講演いただきました。

当日は、全国各地から45人(Web参加含)が参加し、上記講演のほか、津別町木質バイオマスセンターとウッドリームのトップポイラーを見学し、地域熱供給の対象となる福祉施設関係者のほか、多くの参加者からご意見をいただきました。大変充実した内容となりました。

木質バイオマスの取り組み

問い合わせ先
再エネ推進係
☎ 77-8387



最上町役場商工観光課
エネルギー産業推進室 阿部 亘 主任



○令和6年度つべつウッドロスマルシェ実績(定期開催分)

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	合計
		R6.5.25	R6.6.15	R6.7.20	R6.8.17	R6.9.21	R6.10.19	R6.11.16	
合計	重量	79.61 t	31.31 t	7.23 t	37.04 t	15.16 t	25.87 t	22.95 t	219.17 t
	金額	525,565 円	187,294 円	42,657 円	217,724 円	83,637 円	150,865 円	138,017 円	1,345,759 円
	件数	32 件	12 件	3 件	15 件	7 件	8 件	16 件	93 件

●今年度のつべつウッドロスマルシェでは、93件の持込があり、合計219.17tの材で1,345,759円の買取がありました。前年度の定期開催分の32件持込、合計40.09tの材で224,023円の買取を大きく上回る結果となりました。持ち込みや周知等、ご協力くださった方、大変ありがとうございました。

山林から出た木材やご家庭から出た庭木等を買取ります！

つべつウッドロスマルシェ

定期開催は令和7年度5月から再開を予定しています。

定期開催以外も随時受付していますのでお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

津別町木質バイオマスセンター指定管理者：津別町ペレット協同組合

連絡先：津別トラック(株)浅野 TEL：76-1123



大学生がクマヤキ製造を学ぶ

地域おこし協力隊インターンに着任

3月16日～28日、福留いのりさん(学生団体H ALLC)が、地域おこし協力隊インターン制度を活用し、道の駅あいおいでクマヤキ製造を学びました。「これからクマヤキの魅力をより広めていきたいです」と笑顔で話していました。



危険から身を守るために

町防犯協会が防犯ブザーを寄贈

2月25日、津別町防犯協会から教育委員会に防犯ブザーの寄贈があり、中川孝敏会長と加藤恭男副会長から近野教育長に手渡されました。

防犯ブザーの寄贈は、平成13年から毎年行われ、今年で25回目の寄贈となります。

▶大学生と高校生と町民でのワークショップ



津別町の看板を考える

町内看板デザインワークショップ

3月18日・19日、北海道大学公共政策大学院の学生団体HALLCが、津別高校生や一般町民10名とともに、町内の看板デザインを考えるワークショップを開催しました。

18日は津別高校で、町内にある看板の分析を行い、新たに作る看板のテーマを決定。19日は、北海道つべつまちづくり株式会社の萩原氏を講師として招き、デザインについてオンラインで学んだ後、実際に看板のデザインを考えました。

◀萩原氏とのワークショップ

